

★(様式A) 通常事業評価シート【R4年度実施事業(一部) / 生涯学習部郷土文化課による自己評価】

(単位:千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	郷土資料等展示事業	郷土の歴史や文化が引き継がれている	市内外からの来場者に対して、岸和田の歴史と文化を広く知ってもらうため、郷土資料等を一定のテーマに従って展示し、解説する。	市制100周年事業特別企画展をはじめ、年4回の企画展を開催。また、市民センターやカンカン等で出前展示を実施した。	5:達成した	継続	6,755	4,207	10,962	展示ケース等施設の不具合が非常に目立ってきているため、展示品に偏りがみられる。	展示ケースをはじめ展示施設が経年劣化しており、更新が必要。	
2	郷土文化普及事業	郷土の歴史や文化が引き継がれている	郷土の歴史や文化財への市民の関心を深めるため、普及・啓発活動を行う。	文化財の情報発信のために文化財説明板の設置、さらに周年事業の一環として冊子『岸和田市の文化財』を刊行した。	4:大いに近づいた	継続	9,902	3,637	13,539	郷土の歴史や文化財をより一層発信する必要がある。	周知だけでなく、学校教育との連携を図っていく。	
3	演田青陵賞事業	郷土の歴史や文化が引き継がれている	市民がより高度な学術文化に接する機会を提供するため、演田青陵賞事業を企画運営する。	朝日新聞社と共同で選考委員会を開催し、受賞者を決定、9月に授賞式と記念シンポジウムを開催した。また授賞式と記念シンポジウムはyoutubeで動画配信した。	5:達成した	継続	2,255	2,507	4,762	事業自体の継続に課題がある。	事業を継続するために、選考方法の簡易化、事務局のマニュアル化を進める必要がある。	
4	岸和田市文化財保護基金積立事業	郷土の歴史や文化が引き継がれている	文化財の保護、維持管理等に要する経費に当てるため、岸和田市文化財保護基金を適正に管理する。	文化財の保護・維持管理等に要する経費に充当するため、岸和田市文化財保護基金を適正に管理した。	4:大いに近づいた	継続	6,513	72	6,585	基金使用について担当課が全く関与できない。	基金の使用用途について協議が必要。	
5	発掘調査・史跡整備事業	郷土の歴史や文化が引き継がれている	埋蔵文化財の保存と活用を図るため、発掘調査を実施し、出土遺物等を整理する。	令和4年度より高石市との埋蔵文化財事務の広域化を実施し、埋蔵文化財の保存と活用を図った。	5:達成した	継続	2,920	6,440	9,360	埋蔵文化事務の今後とも滞りなく進めていく必要がある。	人材の確保	
6	文化財保護事業	郷土の歴史や文化が引き継がれている	貴重な郷土の文化財を後世に残すため、市内に所在する様々な文化財を保存・保全し、活用する。	八陣の庭の保存活用、国指定文化財所有者への補助金交付、指定文化財敷地の樹木伐採、除草などを行った。	4:大いに近づいた	継続	7,026	4,440	11,466	指定文化財敷地の樹木伐採、除草は町会の希望通りの面積ができていない。	樹木の抜本的な伐採を検討する必要がある。	
7	文化財保存支援事業	郷土の歴史や文化が引き継がれている	貴重な文化財を後世に残すため、文化財の保存・保護活動を支援する。	文化財保存団体への活動支援を行った。	5:達成した	継続	3,871	3,003	6,874	文化財保存団体の構成員の減少、高齢化。	文化財保護の意義を発信し、若い世代へと継承していく必要がある。	
8	自然資料館管理事業	人が緑と触れあっている	自然資料館の施設機能を保持するため、施設を適切に管理する。	年間入館者数20,248名(3月26日まで;3館共通入場券は未確定のため除く)。文化庁の補助金を活用して和式便座の一部を洋式化。NPO法人の寄付を受けて、老朽化していた自動ドアの一部機器を更新。	4:大いに近づいた	継続	23,127	13,958	37,085	入館者数はコロナ前にほぼ戻ったが、コロナの影響下での結果であり、緩和後にこの傾向が続くかは不透明である。また、換気等の感染対策は継続する必要がある。	感染対策で導入した物品や機器類は引き続き活用し、和式便座の洋式化、高機能化もさらに進めて、来館者が安心・安全・快適に利用できるよう施設を維持する。	
9	自然資料館普及・展示事業	人が緑と触れあっている	郷土の自然の大切さを再認識し、保護・保全への市民の理解を深めるため、自然の資料や情報等を広く市民の利用に供するとともに、普及・啓発活動を行う。	企画展・特別展5回、講演会3回、野外観察会21回、室内実習会56回、出展5回、講師派遣63回実施。	4:大いに近づいた	継続	9,410	19,535	28,945	展示や行事、講師派遣など、運用で対応できる部分はコロナ前に戻りつつあるが、さらなる利用者増のためには、10年以上大きな変化がない常設展の更新が必要。	オンライン活用も継続しながら普及・教育や展示等の事業充実を図りつつ、常設展の具体的な改修内容や費用捻出策の検討を進める。	
10	郷土文化課管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	課内を円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行った。	4:大いに近づいた	継続	1,550	10,378	11,928	今後も課内を円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う必要がある。	さらなる事務の効率化	
11	岸和田城天守閣耐震対策検討事業(他課への応援)	観光資源が活かされている	岸和田城を観光資源として保存していくため、今後のあり方について検討する	岸和田城天守閣耐震対策の兼務職員として、文化庁並びに大阪府文化財保護課と協議を行った。	4:大いに近づいた	継続	-	1,433	1,433	引き続き文化庁、大阪府文化財保護課及び学識経験者等調整を図る	関係機関とより一層意見交換を行う。	